

2018年5月10日

2016年度 COOPトリプルカード みやぎスマイル基金 助成活動報告書

みやぎ生活協同組合 理事長 官本 弘 様  
株式会社日専連ライフサービス 社長 羽生正弘 様

団体名	特定非営利活動法人 <sup>せんだいよ</sup> 仙台夜まわりグループ	
代表者名	理事長 今井誠二	
住所	〒983-0044 宮城県仙台市宮城野区宮千代 2-10-12	
電話番号	022-783-3123	FAX 022-783-3123
連絡担当者名	事務局長 青木康弘	

1. 助成事業報告

助成を受けた事業名	独居男性を対象とした料理教室開催及び、訪問家計管理支援
事業の目的	<p>「男の料理教室」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調理素材を購入して料理をする習慣のない、独居男性(とりわけ 60 代を中心とした高齢者)を対象として、手づから調理することの楽しさ、栄養のバランスの良さ、割安さを体験してもらう。</li> <li>彼らが、部屋に引きこもったり、孤立しないよう、目的をもって外出することの楽しみを持ってもらう。</li> <li>参加者相互の親睦を深め、友達の和を広げてもらう。</li> <li>素材を購入して調理をすることを入り口として、自らの家計簿管理ができるような機会とする。</li> </ul> <p>「訪問支援」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「男の料理教室」で関係を構築した参加者の希望に応じて、安否確認、相談受付、家計管理等を実施するための定期訪問を実施する。</li> <li>訪問時に、生活実態を聞き取り、諸相談に応じ、適切なアドバイスをおこない、再び生活困窮に陥らないよう、本人からの申し出を前提として、家計簿管理支援を行う。</li> </ul>
事業の具体的内容	<p>「料理教室」</p> <p>調理室の空き具合と講師の関係で予定した4月を6月に、7月を9月に変更し、都合4回(6, 9, 10, 1月)行いました。</p> <p>6/16 福祉プラザ調理室にて 参加者 16 人、講師他 5 人 具沢山スープ、野菜サラダ、チキンソテー、デザート</p>

	<p>9/21 荒町市民センター調理室にて 参加者 14 人、講師他 6 人 スパゲティーナポリタン、ポテトサラダ</p> <p>10/27 福祉プラザ調理室にて 参加者 16 人、講師他 6 人 そば打ち体験、かき揚げ</p> <p>1/26 福祉プラザ調理室にて 参加者 15 人、講師他 5 人 肉玉丼、サバ缶でカレー鍋、デザート</p> <p>「訪問支援」 家計簿管理支援を行いました。独居男性宅を定期的に訪問し、安否確認、健康状態と生活状態の聞き取りや相談を受けました。当初、3 名で開始しましたが、課題解決をよりスムーズに行うため、二人一組になって訪問することにしました。障がいのために金銭管理が大変難しい場合もあり「まもり一ぶ」につなげた方もいました。訪問の際は、持病がある方の服薬状態を見て、状況によって、毎週の訪問やお薬カレンダーの使用を勧めました。また、一緒に買い物をしたり、調理や掃除等を行いました。訪問の際には、コープフードバンク様からの提供品を持って行くこともあり喜ばれました。</p>
<p>活動の開始から完了までの流れ</p>	<p>「料理教室」 料理教室を行う調理室に定員があることから、訪問対象の方全員に声をかけることが難しく、毎回 25 人の方に案内を出しました。通院や仕事の都合で、平均 15 名の参加でした。講師の他に、スタッフの補助 4 人で行う予定でしたが調理の経験が全くない方ばかり、また下準備と反省会を持ったことから、補助の人数は 5 人～6 人、開催時間は 4 時間が必要でした。予定通り、年間 4 回を、バラエティーに富んだ、また一人でも調理可能で、あり合わせの食材でできる献立を作り、一緒に包丁を持って切ったり煮たり、楽しく充実した時を過ごしました。初めてご飯を炊いた方もいました。材料は、寄付などもあり予算よりも少なく済みました。料理教室の際に、血圧検査、衣類等日用品の配布もしました。</p> <p>「訪問支援」 25 名の対象者を、3 人のスタッフで、対象者一人につき年一回訪問するという計画でしたが、対象者からの要請等必要に迫られ、訪問回数は、対象者一人につき年 12 回以上(月一回以上)のペースで実施しました。訪問頻度の増加に伴い、スタッフを 1 名増員し、4 名としました。家計簿管理支援、健康支援(血圧測定等)、服薬管理支援、病院同行、医療権取得同行等、訪問支援の活動内容は多岐にわたり、生活全般の支援に繋がりました。</p>
<p>活動の成果と教訓</p>	<p>「料理教室」 調理教室では、実際に調理することで、したことがなかった調理へのハードルを低くし、今後の生活に活かせました。また、日常は孤食ですが、みんなと一緒に食事をし、後片付けを行い、会話をし、仲間づくりをすることができました。一人で</p>

	<p>参加した方が次には一緒に来るなど、ひきこもりがちになる生活から、外出することの楽しさを知ってもらえたと思います。また、血圧検査を行い、健康に関心を持ち食事に配慮することの大切さを話す機会ともなりました。また、寄付していただいた季節の衣類を配布し、清潔な衣類を身につけることの気持ち良さを知ってもらう事ができました。参加者からは、「料理の簡単な作り方を教えてもらってよくわかった」「楽しかった」「毎回楽しみにしている」「普段はひとりで食事をしているがみんなで食べると美味しい。」「友達ができた」「料理教室をきっかけに自炊を始めた」等々嬉しい声が聞かれました。</p> <p>「訪問支援」</p> <p>料理教室で関係づくりを行った方々への訪問支援でしたので、スムーズに実施することができました。ほぼ週一回のペースで対象者を訪問し、安否確認と困りごと相談を主におこないました。時に、高齢者からの緊急相談(トイレ詰まり、電球交換等)にも逐一对応しました。訪問の際に、次回の訪問日時を打合せし、訪問予定ハガキも出すなどしたので、次回訪問の際に空振りに終わることがなく、毎回必ず会って、しばらく話しをすることができました。</p> <p>訪問支援は、これまで仙台夜まわりグループで長年実施してきた活動でしたが、訪問スタッフに、これまで以上に責任を持たせ、研修等でスキルアップしてもらうことも大きな目標としました。月例のスタッフ会議、研修会、講演会、ケーススタディを欠かさず行い、訪問支援のスタッフ育成に心がけました。</p>
<p>今後の展望など</p>	<p>「料理教室」も「訪問支援」も、最終的には、路上生活から脱却してお部屋を確保した人たちが、生活全てを取り戻し、地域に根付いて生活してもらうことが目的でした。今後も「訪問支援」は、継続して実施していくことにしています。現在、訪問支援対象者は80名を超え、10名のスタッフで、対象者一人につき週一回以上の訪問支援をしています。また、「料理教室」については、ひとまずお休み、ということにし、違う形で引きこもりや孤立を防ぐ催しを実施していこうと考えています。そのような意味で、今年度(2018年1月)から開始した、お部屋に入った方々の清掃ボランティア活動は、その代りの催しと言って良いと思います。清掃ボランティア活動は、毎月最終金曜日の朝に行われており、現在20数名の参加数を推移しています。また、少人数での食事会(トンカツ屋さん)も継続しており、孤立を防ぐ機会となっています。さらに、毎月実施の、アルコール依存、ギャンブル依存の方々を対象としたグループミーティングも主催しており(29回を数えました)、これからも、課題に向き合う機会、体を動かす機会、就労へ第一歩の場、誰もが気楽に参加出来るサロン活動等を、企画、実施していこうと考えております。また、複雑な問題を抱えた女性路上生活者の保護と支援も現在、そして今後の活動における大きな課題となっています。</p>

## 2. 助成金使途報告書

### ■ 収入の部

確保した資金内容	金額(円)	備考
みやぎスマイル基金助成金	300,000	
本体会計より	136,246	
合計	436,246	

### ■ 支出の部

費目	内容	予算額(円)	実支出額
講師謝礼	料理教室 6/16 三上幸子	8,000	8,000
	料理教室 9/21 大園薫	8,000	8,000
	料理教室 10/27 中山博美	8,000	8,000
	料理教室 1/26 三上幸子	8,000	8,000
講師旅費	料理教室 6/16 三上幸子	1,000	1,000
	料理教室 9/21 大園薫	1,000	1,000
	料理教室 10/27 中山博美	1,000	1,000
	料理教室 1/26 三上幸子	1,000	1,000
料理教室スタッフ賃金	4回 時給 800円×4時間×のべ27人 ボランティア(無給)2人	38,400	86,400
料理教室材料費	4回分	53,240	41,286
料理教室消耗品	案内用紙、名札、家計簿ノートの提供、事務用品等	3,200	7,291
参加者交通費補助	500円×62人	50,000	31,000
お知らせハガキ代	62円×100人	5,200	6,200
お知らせチラシ等印刷代	訪問お知らせ、料理レシピ、家計簿用等	4,000	4,069
家事家計指導訪問賃金	対象のべ32人 訪問のべ280時間	160,000	224,000
合計		350,000	436,246

\*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

## 3. 送付必要書類

- (1)みやぎスマイル基金 助成活動報告書
- (2)領収書のコピー
- (3)成果物(活動をまとめた冊子、パンフレットおよび写真など)

写真、料理教室案内チラシ、料理教室レシピ、アジェンダ、訪問お知らせハガキ